

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	瀬長島観光拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工 観光客の受入体制の整備		
担当部課名	経済建設部	公園緑地課	事業実施 年度	平成 24	~ 平成 28	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	平成24年度策定の「瀬長島観光拠点整備計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い、島全体の利便性の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24~25年度	H26年度	H27年度	H28年度	合計	
	実績報告上の総事業費(最終)	412,299	371,746	276,251	155,424	1,215,720	
	A. 予算現額	463,550	379,010	298,110	155,920	1,296,590	
	B. 執行済額	412,299	371,746	276,251	155,424	1,215,720	
	うち 交付金充当額	329,839	297,397	221,000	124,339	972,575	
	執行率(%) (B/A)	88.9%	98.1%	92.7%	99.7%	93.8%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H24~H28年度、工事及び実施設計において関係機関との調整に不測の日数を要した為、繰越した。 ・最終的な執行率は93.8%となり、概ね計画的に執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	瀬長島観光拠点整備計画の策定、国有地取得、施設の実施設計・整備		目標	基本計画策定、用地取得、実施設計・整備			
			実績	基本計画策定、用地取得、実施設計・整備			
	瀬長島観光拠点整備に向けた実施設計及び整備を行う		目標		設計及び整備を行う		
			実績		実施設計、磁気探査、現場技術、価格調査、配線計画、工事		
	瀬長島内の施設並びに設備等の設計、整備を実施。(無電柱化設計及び整備、現場技術委託、磁気探査、避難路設置、展望広場、駐車場、道路整備、子宝岩再現等)		目標		設計及び整備を行う		
			実績		設計及び整備		
	瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託業務、屋外トイレ棟、無電柱化340m、中道道路250m、防犯灯施設530m)		目標			整備を行う	
			実績			整備	
瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板)		目標				整備を行う	
		実績				整備	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	瀬長島観光拠点整備計画の策定、国有地取得、施設の実施設計・整備		目標	基本計画策定、用地取得、実施設計・整備			
			実績	基本計画策定、用地取得、実施設計・整備			
	瀬長島観光拠点整備に向けた実施設計及び整備を行う		目標		設計及び整備を行う		
			実績		実施設計、工事		
	瀬長島内の施設及び設備等の整備を実施		目標		設計及び整備を行う		
			実績		設計及び整備		
	全体整備計画の76%完了(中道道路、屋外トイレ、無電柱化整備の完了)による瀬長島全体の利便性向上		目標			利便性向上	
			実績			利便性向上	
全体整備計画の事業100%完了(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板の完了)による瀬長島全体の利便性向上		目標				整備を行う	
		実績				整備	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
事業完了以降の瀬長島における将来の年間来島者数	目標	-	-	-	-	1,600,000人
	実績	2,880,000人	-	-	-	2,730,000人
	目標					
	実績					

事業完了後の成果目標 状況説明	【H29年度】 ・瀬長島における年間来島者数は2,880,000人となり、中期目標年度(R3年度)の目標値1,600,000人を大きく上回る結果となった。 【H30年度】 ・平成29年度において、中期目標年度(R3年度)の目標値1,600,000人を達成することができたため、平成30年度は年間来島者数の調査は行わなかった。 【R1年度】 ・平成29年度において、中期目標年度(R3年度)の目標値1,600,000人を達成することができたため、令和元年度は年間来島者数の調査は行わなかった。 【R2年度】 ・平成29年度において、中期目標年度(R3年度)の目標値1,600,000人を達成することができたため、令和2年度は年間来島者数の調査は行わなかった。 【R3年度】 ・瀬長島における年間来島者数は2,730,000人となり、中期目標年度(R3年度)の目標値1,600,000人を大きく上回る結果となった。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタカーや観光バスの利用増加も相まって、国内外より多くの観光客が訪れている。 ・83%の来島者が整備後の印象が良くなったと回答している。 ・整備した施設において、多くのイベント等を実施していることから、当該施設の更なる活用促進が期待できる。 <p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度のイベント等による施設利用数は約30件となり、前年度と比べ増加していることから、当該施設の更なる活用促進が期待できる。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度のイベント等による施設利用数は約6件となり、前年度と比べ減少したが、来島者数は維持(増加)しているものと思われる。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度のイベント等による施設利用数は約5件となり、新型コロナウイルスの影響から、来島者数も同様に前年度より減少している。 <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度のイベント等による施設利用数は約4件となり、前年度同様に減少傾向であるが、目的達成度調査業務委託の結果からも、県民等による日常的な来島者が増加傾向にある事が確認された。 	<p>【H29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備が完了したことにより観光客の受け入れ態勢が整い、今後一層観光客等の来島数が増加することが予想されるため、来島者の安全性を考慮していく必要がある。 <p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等による施設利用数の増加に伴い、今後一層観光客等の来島数が増加することが予想されるため、イベント主催者等には安全管理を徹底させ、来島者の安全性を考慮していく必要がある。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来島者数は増加傾向にあると予測されるため、今後もイベント主催者等には安全管理を徹底させ、来島者の安全性を考慮していく必要がある。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響もあり来島者数は減少しているが、イベント主催者等には感染防止対策や安全管理を徹底させ、来島者の安全確保に考慮していく必要がある。 <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響から県外からの来島者数は減少しているが、全体的な来島者数は増加傾向にあるため、イベント主催者等には感染防止対策や安全管理を徹底させ、来島者の安全確保に考慮していく必要がある。
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬長島における年間来島者数は、外国人観光客等の増加に伴い、目標値を大きく上回る288万人となった。今後は来島者数の維持及び来島者の安全性について考慮していく必要があるため、施設の適切な管理に取り組んでいく。 <p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は来島者数の維持及び来島者の安全性について考慮していく必要があるため、イベント主催者等には安全管理を徹底させる。また、施設のゴミ収集作業や剪定・除草作業を実施し、施設の適切な管理にも取り組んでいく。 <p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は来島者数の維持及び来島者の安全性について考慮していく必要があるため、イベント主催者等には安全管理を徹底させる。また、来島者の増加に伴うゴミ等の増加も懸念されることから、施設のゴミ収集作業や剪定・除草作業を適宜実施し、施設の適切な管理にも取り組んでいく。 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は来島者数の維持及び来島者の安全性について考慮していく必要があるため、イベント主催者等には安全管理及び新型コロナウイルス感染防止対策を徹底させる。また、来島者の増加に伴うゴミ等の増加も懸念されることから、施設のゴミ収集作業や剪定・除草作業を適宜実施し、施設の適切な管理にも取り組んでいく。次年度においては、本事業による効果・実績を検証する目的から、達成度調査を実施予定である。 <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度実施した目的達成度調査業務委託の結果から、来島者数は安定しており、今後とも来島者数の維持及び安全性について考慮していく必要があるため、イベント主催者等には安全管理及び新型コロナウイルス感染防止対策を徹底させる。また、来島者の増加に伴うゴミ等の増加も懸念されることから、施設のゴミ収集作業や剪定・除草作業を適宜実施し、観光施設としての景観形成及び適切な管理にも取り組んでいく。
--

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	新しい公共交通システム可能性調査検討事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立	
担当部課名	都市計画部	都市計画課	事業実施 年度	平成 28	～ 令和 元	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	市内一周線のバスルート変更後におけるバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理をすることで、将来のまちづくりに資するための上位計画及び基本方針を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	13,889	19,764	11,582	8,110	53,345	
	B. 執行済額	13,889	19,764	11,474	8,109	53,236	
	うち 交付金充当額	11,111	15,811	9,179	6,487	42,588	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	99.8%	
執行状況の説明	最終的な執行率は99.8%となっており、概ね計画的な執行となった。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	○年度
	新たな公共交通システム導入可能性の調査及び検討	目標	調査及び検討				-
		実績	調査及び検討				-
	市内一周バス再編に向けた検討	目標		調査及び検討			-
		実績		調査及び検討			-
	基幹公共交通システムの検討	目標		検討			-
		実績		検討			-
	市内一周線バスの変更に向けた調査、手続き、広報作業	目標			H31年3月完了		-
		実績			H31年3月完了		-
バスルート再編後の事後調査、評価、検証及び課題の整理	目標				R2年3月完了	-	
	実績				R2年3月完了	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	○年度
	新たな公共交通システム導入可能性調査検討報告書の作成	目標	報告書の作成				-
		実績	報告書の作成				-
	市内一周バス再編に伴う社会実証実験計画の作成	目標		計画書作成			-
		実績		計画書作成			-
	市役所移転後の市内一周線のルート変更前の利用状況の把握	目標			アンケート実施		-
		実績			アンケート実施		-
市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	目標				80%	-	
	実績				81%	-	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	80%	80%		
		実績	実施見送り	実施見送り		
	目標					
	実績					

状況説明

【R2年度】
 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、ネットを活用したアンケート調査方法を模索するも実施には至らず調査を見送ることにしたが、「市内一周線バス」のルート変更後は、令和元年10月以降から前年を上回る利用者数を確認できており、満足度は確保されていると類推される。令和3年度については、新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら実施を検討する。
 ・豊見城市交通基本計画のなかで「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」等の基本方針を掲げ「新しい公共交通システムの導入」等として位置付けた。

【R3年度】
 ・R2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えが想定されることから、アンケート調査については今後の収束状況を見極めながら実施を検討するとともに、効果的な実施方法についても検討していく。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R2年度】 ・R2年度については、交通事業者等が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業効果の検証(アンケート実施)を見送った。</p> <p>【R3年度】 ・R2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えが想定されることから正確な効果発現状況の把握が難しいと判断し、効果検証を見送った。</p>	<p>【R2年度】 ・交通事業者等の関係者と連携・協働し、「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」に繋がるよう路線バスの利用環境の拡充や新しい公共交通システムの導入などに取り組んでいく。</p> <p>【R3年度】 ・R2年度に引き続き、市民生活の向上や地域生活を支える交通体系の構築に向け関係者と連携しながら取り組んでいく。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R2年度】
 ・将来の交通のあり方に関する基本的な考え方を示し、移動円滑化、環境問題への配慮、地域特性や市民ニーズ、土地利用等を考慮した将来のまちづくりに資するため交通施策の上位計画として「豊見城市交通基本計画」を策定し、基本方針として「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」として位置付けた。

【R3年度】
 ・R2年度に策定した「豊見城市交通基本計画」を着実に推進するため、短・中期(5~10年)を見据えて重点的・効率的に推進する施策をパッケージ化し、実施主体やスケジュール、計画目標値及び推進体制を位置付けた「豊見城市総合交通戦略」を策定。今後、基本方針の具体的な実現に向け施策を展開していく。

市町村名	豊見城市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	豊見城市いきいき野菜生産支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
担当部課名	経済建設部	農林水産課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 2	年度 III-1-(6)	
事業内容	豊見城市産野菜について、市場や量販店が求める定時・定量定品質等の安定供給を推進するためにも、天候悪化に左右されない耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)を導入する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計	
	A. 予算現額	38,400				38,400	
	B. 執行済額	36,560				36,560	
	うち 交付金充当額	29,248				29,248	
	執行率(%) (B/A)	95.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.2%	
執行状況の説明	事業計画どおりに執行されており、活動目標、成果目標の達成状況からも適正と考えられる。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	耐候性野菜栽培施設導入に対する補助	目標	5,832㎡ 11棟、5農家				
		実績	5,832㎡ 11棟、5農家				
		目標					
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	耐候性野菜栽培施設導入の完了	目標	100%				
		実績	100%				
		目標					
		実績					
		目標					
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	野菜(葉野菜類)の反収(10aあたりの生産量) ホウレンソウ 1.1t/10a	目標	1.1t/10a				
		実績	0t/10a				
	カラシナ 1.3t/10a	目標	1.3t/10a				
		実績	0t/10a				
	チンゲンサイ 1.3t/10a	目標	1.3t/10a				
		実績	0t/10a				
状況説明	<p>【R3年度】 ・R3年度より軟弱野菜等の植付開始。施設の利用状況等については現場確認を行った。生産量については、植付開始から最初の収穫がまだ行われていないことから、実績はゼロとなった。 なお、生産量の実績値についてはR4年7月に取りまとめる予定。</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R3年度】 ・植付開始から最初の収穫がまだ行われていないことから、実績はゼロとなったが、露地栽培から施設栽培への変更に対応するための、栽培技術等が確立されつつある。</p>	<p>【R3年度】 ・JAおきなわによる営農指導や推奨種苗等を活用する。また、市場等の動向について情報共有し適正な栽培を行う。</p>
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R3年度】 ・事業の目的である、安定生産や生産農家の経営安定を図るために、市場の動向をとらえた生産体制を構築し販売先の確保に取組む。</p>
--

市町村名		豊見城市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	不登校対策支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
担当部課名	教育部	学校教育課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等の適切な支援を行うことにより登校復帰及び社会的自立を支援する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H24~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	107,927	9,550	11,394	14,720	143,591	
	B. 執行済額	101,983	9,456	11,175	13,851	136,465	
	うち 交付金充当額	81,576	7,565	8,940	11,080	109,161	
	執行率(%) (B/A)	94.5%	99.0%	98.1%	94.1%	95.0%	
執行状況の説明	人材確保ができず、未配置の期間があるなどしたが、概ね計画どおりに執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		R29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援補助員配置数:3人 中学校:1人 適応指導教室:2人	目標	適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人
		実績	適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人
	登校支援員配置数:8人 市内小学校に1人ずつ配置	目標	4人	4人	4人	8人	8人
		実績	4人	4人	4人	8人	8人
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		R29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	目標	20%以上	20%以上	20%以上	20%以上	20%以上
		実績	18.5%	17.7%	18.48%	38.16%	23.53%
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	R3年度まで継続して支援員を配置し、学校復帰率30%を目指す。	目標	30%以上			
		実績	23.53%			
		目標				
実績						
状況説明	【R3年度】 ・小学校では不登校児童71人に対し6人が登校復帰した。また、中学校では不登校生徒116人に対し38人が登校復帰した。目標である30%には到達できなかった。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・不登校児童生徒が増加傾向にある中、コロナ禍による影響もあって、対応ケースが複雑・多様化している。		【R3年度】 ・計画どおりの支援員配置の取り組み、切れ目のない支援を行う必要がある。また、不登校児童生徒が抱える問題等を的確にとらえ、様々な角度からアプローチしていくといった工夫が必要である。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R3年度】 ・不登校対策は初期段階から切れ目なく継続して支援する必要があることから、支援員の継続雇用へとつながるよう学校側と連携し働く環境の充実に努めるとともに、支援員採用に際してはWEB等を活用するなど幅広い層へ働きかけるよう取り組む。また、人事評価制度や昇給制度を活用しながら有能な人材を継続して雇用できるよう取り組む。						

市町村名 **豊見城市**

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	新しい公共交通システム可能性調査検討事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	都市計画部	都市計画課	事業実施年度	平成28 ~ 令和元年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	市内一周線のバスルート変更後におけるバス利用状況調査、ルート再編の評価、課題の整理をすることで、将来のまちづくりに資するための上位計画及び基本方針を策定する。				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()				

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
	A. 予算現額		13,889	19,764	11,582	8,110
B. 執行済額		13,889	19,764	11,474	8,109	53,236
うち 交付金充当額		11,111	15,811	9,179	6,487	42,588
執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	99.8%
執行状況の説明	最終的な執行率は99.8%となっており、概ね計画的な執行となった。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	〇年度
新たな公共交通システム導入可能性の調査及び検討	目標	調査及び検討				-
	実績	調査及び検討				-
市内一周バス再編に向けた検討	目標		調査及び検討			-
	実績		調査及び検討			-
基幹公共交通システムの検討	目標		検討			-
	実績		検討			-
市内一周線バスの変更に向けた調査、手続き、広報作業	目標			H31年3月完了		-
	実績			H31年3月完了		-
バスルート再編後の事後調査、評価、検証及び課題の整理	目標				R2年3月完了	-
	実績				R2年3月完了	-

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	〇年度
新たな公共交通システム導入可能性調査検討報告書の作成	目標	報告書の作成				-
	実績	報告書の作成				-
市内一周バス再編に伴う社会実証実験計画の作成	目標		計画書作成			-
	実績		計画書作成			-
市役所移転後の市内一周線のルート変更前の利用状況の把握	目標			アンケート実施		-
	実績			アンケート実施		-
市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証	目標				80%	-
	実績				81%	-

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	市内一周バスルートの再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	80%	80%		
		実績	実施見送り	実施見送り		
	目標					
	実績					

状況説明

【R2年度】
 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、ネットを活用したアンケート調査方法を模索するも実施には至らず調査を見送ることにしたが、「市内一周線バス」のルート変更後は、令和元年10月以降から前年を上回る利用者数を確認できており、満足度は確保されていると類推される。令和3年度については、新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら実施を検討する。
 ・豊見城市交通基本計画のなかで「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」等の基本方針を掲げ「新しい公共交通システムの導入」等として位置付けた。

【R3年度】
 ・R2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えが想定されることから、アンケート調査については今後の収束状況を見極めながら実施を検討するとともに、効果的な実施方法についても検討していく。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R2年度】 ・R2年度については、交通事業者等が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業効果の検証(アンケート実施)を見送った。</p> <p>【R3年度】 ・R2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えが想定されることから正確な効果発現状況の把握が難しいと判断し、効果検証を見送った。</p>	<p>【R2年度】 ・交通事業者等の関係者と連携・協働し、「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」に繋がるよう路線バスの利用環境の拡充や新しい公共交通システムの導入などに取り組んでいく。</p> <p>【R3年度】 ・R2年度に引き続き、市民生活の向上や地域生活を支える交通体系の構築に向け関係者と連携しながら取り組んでいく。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R2年度】
 ・将来の交通のあり方に関する基本的な考え方を示し、移動円滑化、環境問題への配慮、地域特性や市民ニーズ、土地利用等を考慮した将来のまちづくりに資するため交通施策の上位計画として「豊見城市交通基本計画」を策定し、基本方針として「誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成」として位置付けた。

【R3年度】
 ・R2年度に策定した「豊見城市交通基本計画」を着実に推進するため、短・中期(5~10年)を見据えて重点的・効率的に推進する施策をパッケージ化し、実施主体やスケジュール、計画目標値及び推進体制を位置付けた「豊見城市総合交通戦略」を策定。今後、基本方針の具体的な実現に向け施策を展開していく。